

2019年度 推薦入学試験（一般推薦等） 経済学部 地域環境政策学科「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
50	46

※一般推薦（指定校含む）、文化活動推薦、専門・総合推薦の総計

2. 地域環境政策学科 アドミッション・ポリシー

地域環境政策学科では、経済の視点から地域と環境を考えることを通して、環境に配慮しながら地域経済の発展に貢献し、持続可能な社会を創造できる人材の育成を目指しています。そこで、本学科では、次の①～⑤について自らの言葉で説明できる志願者を求めています。

- ① 沖縄及び世界の経済や環境に広く関心がある人
- ② 沖縄地域の経済や環境を含めた、沖縄の過去・現在・未来に関心がある人
- ③ 様々なフィールド（現場）に出て、積極的に活動することが好きな人
- ④ 社会で起きている様々な事柄に関心を持ち、地域社会及び世界へ貢献したいという熱意のある人
- ⑤ 大学の授業に耐えうる基礎学力を有し、勉学に対する意欲がある人

特にA O型入学試験では、一般試験だけでは測ることが難しい多様な資質を有する学生を受け入れるため、コミュニケーション能力が高く、上記の①～⑤について自らの言葉で表現でき、学内外の活動に積極的に取り組んだ実績があり、それらの活動が、本学科で学ぶ上でどのような意味を持つのかを説明できる志願者を求めます。

3. 出題の意図

この小論文の出題の意図は、受験生が経済学部地域環境政策学科で学ぶ上で必要な能力をどの程度持っているかを見ることである。

まず、問題文にある通り、沖縄県における特徴的な自然環境の具体例を挙げさせることによって、地域環境に対する関心がどの程度あるかを見る。さらに、それらを活用した地域のリーディング産業であり、かつ、世界とつながる観光産業のあり方についての意見と提案を述べさせることによって、地域経済政策に対する関心がどの程度あるかを見る。

最後に、小論文全体において、質問の意味を把握し的確に答える能力があるか、自らの主張を論理的に展開する能力があるか、そして熱意があるかをみる。

これらは、本学科のアドミッション・ポリシーの内容に受験生が合致しているかを判断するものである。

4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

特になし